

年頭のあいさつ



小城市議会
議長 中島 正之

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年7月3日に市内で発生した集中豪雨に伴う道路冠水により、各所で通行規制があり、市民生活をはじめ、市内経済に大きな影響を及ぼしました。

この経験により、私たちは災害に対する備えの必要性を改めて痛感すると同時に、一方で町内会関係者による独居高齢者の安否確認や避難所における市民団体のボランティア活動など、助け合い、支え合う『地域の力』の大切さを再認識することにもなりました。

さて、小城市議会は昨年、『小城市議会基本条例』に掲げる理念のもと、多くの市民の皆さまの意見をお聞きするため、市内4か所において議会報告会を精力的に取り組んでまいりました。

今後も、さまざまな市政課題の解決に向け、市民の皆さまの声を十分聞きし、活発な議論を重ねるとともに、市議会の改革・活性化に引き続き取り組みながら、市民と協働する議会を目指し、全力を尽くしてまいります。

どうかこれからも力強いご支援、ご協力をお願いしますとともに、本年が市民の皆さまにとりまして、幸せて実り多く、飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成26年度

一般会計・特別会計補正予算を承認

**平成26年度 一般会計補正予算(第3～6号)は、
3億971万円を増額し、213億2,104万円**

平成26年12月定例会は11月27日から12月18日までの22日間開催され、8件の平成25年度決算認定を含む33件の議案が提出され、慎重審議の上、可決された。

歳入の主なものは、ふるさと納税額の増加によるものが最も多く、固定資産税を中心とした市民税、国・県支出金の増加、また財源調整のための基金繰入金の減少などである。

歳出の主なものは、「ふるさと納税推進事業」の報償費(品代)、障害者福祉費などの民生費、都市計画街路事業などの土木費などである。

またこれら以外には、専決処分により、衆議院議員選挙費用と県知事選挙費用が、国・県支出金により補正されている。